

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60-89433

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)6月19日

F 16 F 9/34

7369-3J

審査請求 未請求 (全1頁)

⑮ 考案の名称 油圧緩衝器のピストン部

⑯ 実 願 昭58-182005

⑰ 出 願 昭58(1983)11月25日

⑱ 考 案 者 石 原 尊 之 可児市土田2548番地 萱場工業株式会社岐阜北工場内
 ⑱ 考 案 者 伊 藤 誠 治 可児市土田2548番地 萱場工業株式会社岐阜北工場内
 ⑱ 考 案 者 鈴 木 勝 久 可児市土田2548番地 萱場工業株式会社岐阜北工場内
 ⑱ 考 案 者 沢 田 公 宏 可児市土田2548番地 萱場工業株式会社岐阜北工場内
 ⑲ 出 願 人 萱場工業株式会社 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル
 ⑳ 代 理 人 弁理士 天 野 泉

⑳ 実用新案登録請求の範囲

- (1) シリンダ内に挿通されたピストンロッドの先端部に配設され、その摺動によつて所望の減衰力を発生するように形成されてなる油圧緩衝器のピストン部において、当該ピストン部はバルブシートとバルブストツパとの間に遊動バルブを保持してなるとともに、バルブシートにバルブストツパを圧入して一体に形成されてなることを特徴とする油圧緩衝器のピストン部。
- (2) ピストン部はピストンロッドの先端部を貫通させるとともに、ピストンロッドの先端のカシ

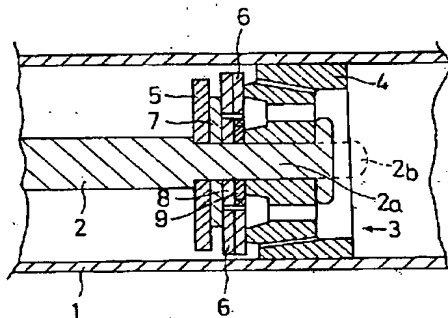
メ加工によつてピストンロッドの先端部に配設されてなる実用新案登録請求の範囲第1項記載の油圧緩衝器のピストン部。

図面の簡単な説明

第1図は従来の油圧緩衝器におけるピストン部の構造を示す部分断面図、第2図は本考案の実施例に係る油圧緩衝器のピストン部の構造を示す部分断面図である。

1…シリンダ、2…ピストンロッド、3…ピストン部、4…バルブシート、5…バルブストツパ、6…遊動バルブ。

第1図



第2図

